

(報道発表資料)

2026 年 2 月 13 日

NTT 西日本 東海支店

名古屋市の新交通「SRT」、運行情報を“見える化”する Smart 機能が本格稼働 ～ リアルタイム走行位置、周辺施設・イベント情報を一体提供 ～

NTT 西日本株式会社 東海支店（執行役員 東海支店長：児玉 美奈子、以下「NTT 西日本」）は、名古屋市が導入を進める新たな路面公共交通システム「SRT (Smart Roadway Transit)」において、運行情報などを提供する Smart 機能を構築しました。

本機能は、本日（2026 年 2 月 13 日（金））運行を開始した名駅－栄系統で活用されます。

1. Smart 機能構築の背景と目的

名古屋市は、都心における回遊性の向上や賑わいの拡大を目的に、まちづくりと一体となった新たな路面公共交通システム SRT（Smart Roadway Transit、以下「SRT」）の導入を進めています。2019 年 1 月に策定された SRT 構想では、先進技術を活用した快適な移動体験や分かりやすい情報提供など、スマートさの実現が掲げられています。

こうした背景のもと、NTT 西日本は名古屋市が実施した「SRT の運行開始に向けた Smart 機能の構築及び効果検証手法の検討・導入業務委託」に関する公募型プロポーザルに応募し、複数事業者の中から選定され、2024 年 12 月より本日の運行開始に向けて、Smart 機能の構築を進めてきました。

本 Smart 機能では、専用ウェブサイトにおいて分かりやすい運行情報や乗降方法を発信するとともに、乗降・待合空間に設置するデジタルサイネージを通じて、運行情報に加え周辺施設やイベント情報などを提供します。

これにより、SRT 利用者の利便性向上を図るとともに、まちを回遊する人々の情報スポットとして機能し、より歩きたくなる都心づくりへの効果を高めることをめざしています。

なお、本件は国土交通省「日本版 MaaS 推進・支援事業」の支援を受けて行うものです。



※「SRT」車両デザイン

2. NTT 西日本が構築した Smart 機能の概要

SRT 公式ウェブサイトでわかりやすい運行情報や乗降方法を発信するとともに、SRT が現在どこを走行しているかをリアルタイムで確認できる走行位置表示システムを構築しました。

また、乗降・待合空間に設置するデジタルサイネージでは、運行情報に加えて周辺施設やイベント情報なども提供します。

○SRT 公式ウェブサイト (URL : <https://www.srt.city.nagoya.jp>)

○走行位置表示システム

○デジタルサイネージ

○Smart 機能等を活用した SRT 導入効果の検証手法の検討



※各画面はイメージです。

3. 今後の取り組み

NTT 西日本グループは、地域密着のコンサルティング力と ICT の社会実装力を活かし、今後も自治体や地域の皆さまと連携しながら、暮らしを支える取り組みを進めてまいります。

以 上

審査 25-S1368

※ニュースリリースに記載されている情報は、発表時点のものです。

変更になる場合がありますので、あらかじめご了承くださいとともに、ご注意をお願いいたします。